

# 部 局 経 営 方 針

平成19年度

薩摩川内市

<b>部局名</b>	農林水産部	<b>部局長名</b>	石走直伸
------------	-------	-------------	------

部 局 内 の 経 営 資 源	当初予算	25億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		47人	7人	54人

部局の使命 (組織の存在価値)	<p>農林水産部の使命は、地域力を発揮し産業活力を創出するまちづくりを展開することである。</p> <p>農業の産地づくりを推進する。 畜産業の振興を強力に推進する。 農業生産基盤の整備を行う。 農村地域の特性を活かした住みよい生活環境を確保する。 自然環境に配慮した林道整備を推進する。 つくり育てる漁業を推進する。 水産業担い手を育成確保する。 漁港及び漁場の整備を充実する。 農林水産物及び加工特産品のブランド化を推進する。</p>	組織目標像	<p><b>【施策の目標像】</b> 農林水産施策の充実 新たな農業施策への取組を確立 畜産業の向上と生産基盤の確立 基盤整備と農業用施設の維持管理を充実 農村環境保全向上活動支援の確立 健全な森林整備の実現 水産物地方卸売市場整備の可能性調査を実施 農地の有効利用</p> <p><b>【組織の目標像】</b> 産業活力をさらに創出するため組織体制の強化 市民の目線に立った、農林水産業務の向上 畜産振興体制の充実 農業委員会事務局の「あるべき姿」を検討し、事務改善解決策を作成</p>
--------------------	---	-------	--

## 平成19年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標(めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)
新たな特産品開発	特産品コンクール入賞6品 推奨品2品	特産品コンクールの実施 推奨制度の導入	・市特産品開発運営協議会を開催(8月26日)、ふるさと特産品コンクール等開催を決定
品目横断的経営安定化対策の促進	集落営農組織4集落 担い手育成10名	法人指導 担い手協議会の設立	・市担い手育成総合支援協議会設立総会(6月26日) ・農事組合法人やまた設立総会(8月29日) ・認定農業者3名育成

# 部 局 経 営 方 針

平成19年度

薩摩川内市

米政策改革推進対策の推進	米作付面積 2,313ha の 100%達成	水田農業協議会の設置, ワンフロアー化の取り組み, 産地づくり交付金の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市とさつま川内農業協同組合との事務局のワンフロア体制整備(5月2日)</li> <li>・市水田農業推進協議会を開催(6月6日)</li> </ul>
本市農業の将来や, 農業振興施策の在り方を示す	農業振興ビジョンの策定 策定目標 平成20年3月	先進地調査研究 関係者との連携による策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業振興ビジョン業務委託(8月30日)入札</li> <li>・落札業者との協議(9月10日)</li> </ul>
重点7品目農産物の振興	ごぼう・らっきょうのブランド化, いちご・ごぼうの県農林水産物認証を目指す。	産地体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定・認証へ向けて各部会への説明と推進を技連会等で行っている。</li> </ul>
らっきょう生産振興	暗渠排水整備 700m ほ場整備 30a	企業参入の推進 工事の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暗渠排水整備は完成, ただし700mから663mに変更となった。</li> </ul>
ポジティブリスト制度の推進	農薬飛散防止の徹底	農業関係機関と連携強化 座談会等での周知, 防除組合・農薬店への指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農薬飛散防止対策協議会担当者会による飛散防止対策の強化, 指導, 及び座談会等での周知を実施した。</li> </ul>
畜産農家の経営安定	畜産農家の経営安定	資金対応の検討と経営指導の実施 認定農家の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定農家の新規加入: 2名</li> </ul>
肉用牛の増頭	肉用牛飼養頭数の増頭 優良雌牛の確保 150頭	肉用牛導入事業や優良家畜保留導入助成事業の活用による増頭推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肉用牛貸付事業による家畜導入: 53頭</li> <li>・優良家畜保留導入助成事業による家畜導入: 91頭</li> </ul>
家畜伝染病の発生防止	家畜伝染病発生ゼロ	家畜防疫対策と環境保全の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子牛注射や異常産注射の実施</li> <li>・家畜伝染病の発生なし(8月末)</li> </ul>
肉用牛生産農家の経営安定	農家所得の向上	子牛育成指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員及び畜産業務嘱託員による子牛育成指導の実施</li> <li>・子牛価格は堅調に推移</li> <li>・薩摩中央家畜市場の上半期取扱頭数 対前年比92頭増(2.8%増)</li> </ul>
肉用牛肥育農家の経営安定	かごしま黒牛川内ブランドの確立	かごしま黒牛川内ブランド推進事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産地枝肉共励会の開催(4月2日)</li> <li>・産地枝肉共励会及び現地交流会等に係る役員会の開催(9月3日)</li> </ul>

# 部 局 経 営 方 針

平成19年度

薩摩川内市

畜産経営基盤の強化	畜産経営基盤の強化による規模拡大 畜舎の新築・増築10棟	畜産施設整備事業や畜産基盤再編総合整備事業等の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産施設整備事業の推進</li> <li>・県地域振興公社,北薩地域振興局及び農家と連携を図りながら事業を推進</li> <li>・九州農政局ヒアリング(9月15日)</li> </ul>
森林整備の推進	間伐目標面積 322ha 森林づくり推進員活動 目標41人 延べ779日 基盤整備目標 作業路 800m 集材路 4,500m	地域ぐるみの間伐等森林整備  基盤整備として作業路,集材路の開設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐面積 133ha【41%】</li> <li>・森づくり推進員活動 72日【9%】</li> <li>・作業路 800mの内示</li> <li>・集材路 4,594mの内示</li> </ul>
特用林産の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早堀たけのこの生産性の向上 竹林改良 8.0ha 管理路 1,200m</li> <li>・たけのこ以外の特用林産物の掘りおこし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伐竹・刈払,畑面整理,施肥等 基盤整備として管理路の開設</li> <li>・特用林産物の掘りおこしのための検討</li> <li>・関係者からの意見徴集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林改良 7.52ha(実施中) 管理路 850m(実施中)</li> <li>・1月実施予定</li> <li>・1月実施予定</li> </ul>
林道の整備・促進	<p>市施行の林道事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>林道開設 4路線</li> <li>林道改良 2路線</li> <li>林道舗装 3路線</li> </ul> <p>県施行の林道事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>林道開設 2路線</li> </ul>	地域森林計画に基づく林道整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【当初予算分】</li> <li>林道開設 津田鬼川内線(発注済)</li> <li>新ヶ倉1号線(計画書作成) 【11月発注予定】</li> <li>遠目木線(発注済)</li> <li>林道改良 遠見ヶ城線(発注済)</li> <li>大崩線(補助申請中)【10月】</li> <li>林道舗装 永山線(設計委託)【11月】</li> <li>・【9月補正分】</li> <li>林道開設 大平良線(発注準備)【10月】</li> <li>林道舗装 大内浦線(発注準備)【11月】</li> <li>椿線(発注準備)【10月】</li> </ul>
山地災害の防止	県費単独補助治山事業10箇所	治山事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県からの内示 4箇所について 測量設計完了 補助申請 発注準備</li> </ul>

# 部 局 経 営 方 針

平成19年度

薩摩川内市

<p>水産資源の再生</p>	<p>甑島地域水産資源再生調査 ・甑島沿岸の新たな水産資源の掘り起こし ・藻場再生のための造成試験 ・有用魚介類を対象とした魚礁の検討</p>	<p>民間のシンクタンクへ委託 漁業関係者や学識経験者等からなる検討委員会開催 報告書作成</p>	<p>・平成19年6月22日 委託契約 ・平成19年8月31日 第1回検討委員会</p>
<p>流通体制の構築</p>	<p>薩摩川内市水産物流通拠点施設（市場等）可能性調査 ・市場，直販施設，加工施設，冷凍庫，レストラン等の可能性調査</p>	<p>川内・甑島地域の魚介類の流通体制強化と地産地消の促進を図るための拠点施設の可能性調査</p>	<p>・平成19年7月13日 鹿児島大学と業務委託契約</p>
<p>魚食普及の促進</p>	<p>【お魚まつり目標】 開催回数 年1回（10月） 来場者数 30,000人 【とれたて市目標】 開催回数 年11回（毎月） 来場者数 年22,000人</p>	<p>川内市漁協，甑島漁協及び川内市内水面漁協で構成されるお魚まつり実行委員会への人的・資金的支援  川内市漁協及び甑島漁協で構成されるとれたて市への人的支援・資金的支援</p>	<p>・【お魚まつり】 実行委員会（3回実施） 平成19年4月23日 平成19年7月24日 平成19年9月7日 平成19年10月28日 開催予定 ・【とれたて市】 4月～9月（6回実施） 来場者数 約5,000人</p>
<p>市単土地改良事業の実施</p>	<p>農道の改良・舗装・ポンプ等修繕，農村環境計画策定 策定目標平成20年3月</p>	<p>農道・水路等の改良及び維持修繕 農業農村整備の基本方針等を策定</p>	<p>・主に農道舗装や水路等の修繕等を実施。刈取後に，残事業の本格執行に努める。 また，農村環境計画策定については，検討委員会を設置し，検討中である。</p>
<p>県単土地改良事業の導入</p>	<p>農業生産基盤の整備3地区</p>	<p>農道改良工事，水路改良工事，農道改良舗装工事の実施</p>	<p>・3地区を県に要望していたが，樋牟礼地区（東郷地域）のみの割当となっている。 残りの地区の追加割当は厳しい状況である。</p>
<p>県営農業農村整備事業の推進</p>	<p>整備7地区</p>	<p>水質保全，ため池等整備，中山間地域総合整備，農村振興総合整備，農業用河川工作物応急対策の実施</p>	<p>・7地区のうち，2地区（裸島地区，祁答院地区）が新規地区であり実施設計のみの計画であるが，全てほぼ計画どおり進んでいる。（当初予算に対して割当約92%）</p>

# 部 局 経 営 方 針

平成 1 9 年度

薩摩川内市

土地改良・湛水防除施設の維持管理適正化事業の実施	排水機場ポンプ点検整備 5 台 排水機場維持管理	排水機場ポンプの分解・点検の実施 排水機場施設の管理及び施設維持補修	・平成 19 年度は八間川排水機場ポンプ 2 台、戸田排水機場ポンプ 3 台計 5 台のポンプの分解整備を実施する予定で 10 月末発注を目標に現在設計を実施中。
農地・水・農村環境保全向上活動支援事業の実施	活動地区 2 2 地区 目標面積 1,300 h a	遊休農地発生防止，用排水路施設・農道等の保全管理，生態系保全への取り組み	・平成 19 年度から本格的に事業開始されたが，現在，2 2 地区において各々活動計画に基づいて事業実施中である。 地区毎の進捗状況にややばらつきが見受けられており，今後円滑な事業推進のため組織の適切な指導に努めたい。
土地改良区合併の推進	土地改良区の合併目標年次 合併目標平成 2 1 年 4 月	薩摩川内市土地改良区合併推進準備委員会の開催と支援	・薩摩川内市土地改良区合併推進準備委員会及び幹事会を計画的に開催し協議が進められている。 協議の主な内容 合併協議参加土地改良区数 7 合併の時期 平成 20 年 12 月 25 日(予定) 合併の方法 吸収合併 新土地改良区の名称 薩摩川内市土地改良区 最終意思決定平成 20 年 3 月各総(代)会
農地流動化の推進	年間目標面積 107 h a 内訳 本土農業委員会 105ha 甌農業員会 2ha	農業委員・流動化推進員や農業公社による掘り起こし活動を展開 農地流動化促進補助金を活用し，貸し手・借り手に対する農地の利用権を設定	・年間目標の 4 5 . 7 % 達成。
農業委員会統合等合同検討	「組織，県の権限移譲，市長と語る会，研修計画，農業振興等検討し方向性をまとめる。	農業委員会統合等合同検討委員会を毎月 1 回開催	・ 4 月から毎月開催。 ・ 5 回をもって結論，建議にて初期目的達成。

年度末の達成状況【主な実績】